

進路だより～Aspiration 2012.1.25.

新年から早くも1ヶ月が過ぎようとしています。皆さんは新年の決意を実現するために、日々の生活を送っていることと思います。

さて、大学入試センター試験が終わり、国公立大2次試験や私立大の一般入試がスタートします。3年生は気持ちを切り替えて臨んでください。また、1・2年生はこの機会に、大学入試センター試験についての知識を深めるとともに、センター試験問題にチャレンジしてみましょう。

3年生 センター試験が終了した後は、「切り換え」がキーワードになります。自己採点が終了したら一刻も早く第一志望校対策に切り換えましょう。思う以上に得点できた人は、「できたのは自分だけではない」、思うように得点できなかった人は「できなかったのは自分だけではない」と考え、油断しない、諦めない気持ちが大切になります。

国公立大個別学力検査について

～最後まで諦めないことが合格につながる～

一般入試の場合、「前期日程」「中期日程」「後期日程」の組み合わせで最大3校の受験が可能です。しかし、前期日程で合格入学手続きを行うと、他の中・後期日程を受験していても合格対象にはならないため、第一志望校は前期日程で受験することが一般的です。

後期日程については、定員が少なく志願倍率が高くなる傾向にあります。実際は前期日程合格者が受験しないことも多いので、合格のチャンスは決して少なくはありません。また、前期試験から後期試験の間は2週間以上もあり、弱点分野の克服なども可能です。

特に国公立大を志望している場合は、私立大合格で

安心して、国公立大をめざす強い意志を持つことが重要です。最後まで諦めないことが希望進路実現への近道なのです。

私立大入試について

～情報収集が希望進路実現のカギ～

私立大については、2月以降に出願できたり、地方入試（学外試験）や方式別入試を受験できたりするなど、様々な入試のスタイルがあります。情報収集をこまめに行うことが希望進路実現につながります。合格を信じ、最後まで粘り強く取り組んでほしいと思います。

1・2年生

国公立大の入試は、基本的には、大学入試センター試験と各大学が実施する個別学力検査（2次試験）を合わせた成績で合否が決定されます。センター試験は「入試の第一関門」なのです。また、多くの私立大学でもセンター試験を利用した入試が行われています。国公立大の志願者数の増加や、センター試験利用大学の増加に伴い、志願者数の割合が年々増えています。直前になって慌てないためにも、センター試験や入試の基本事項について今から押さえておきましょう。

センター試験の基礎知識

～2013年入試に向けて～

1 日程と時間割について

センター試験は毎年1月の中旬に2日間にわたって行われます。2012年実施のセンター試験は、別表に示す日程・時間割で実施されました。出題教科・科目は6教科29科目となっています。志望校の入試に合わせて、必要な科目を受験することになります。現在、ほとんどの国立大学で5教科または6教科7科目が課されているので、苦手教科をつくらないことが大切です。

2 試験会場について

ここ数年、本校生は四国学院大学が会場になっています。慣れない場所で他校の生徒に交じって受験することになります。普段より緊張してしまうかもしれません。それに備え今のうちから、校内で実施する模擬試験などで常に「本番のつもりで受験」するトレーニングをしておきましょう。

3 受験者数

2012年実施のセンター試験は、55万人が受験するとても大規模な試験となりました。

4 出題内容

出題対象は高校3年間の学習事項で、1・2年生の内容が多く割合を占めています。すべて教科書の内容から出題されるので、毎日の授業にそのまま直結する試験ということが出来ます。是非一度問題を確認し、レベルを把握しておきましょう。そうすることで、毎日の学習に対する取組みも変わってきます。

別表

2012年 1月14日 (土)	地理歴史	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40
	公民 国語	13:00～14:20
	外国語	【筆記】15:10～16:30 【リスニング】 ※英語のみ 17:10～18:10
2012年 1月15日 (日)	理科	2科目選択 9:30～11:40 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	13:00～14:00
	数学②	14:50～15:50

なお、1月15日には2年生の希望者約30名が来年のために高松予備校で今回のセンター試験と同じ問題にチャレンジしました。1年後、自信を持って臨めるよう、この経験を今後の学習に生かしてください。

香川県立善通寺第一高等学校進路指導部